

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		筋力低下防止のためには、日光浴・散歩や室内歩行(歩け歩け運動)を日課に取り入れる。	生活のリズムの中に毎日、午前午後のラジオ体操やリハビリ体操を取り入れて、メリハリをつける。	廊下、リビングを疲れない程度歩行をする。ただし、スタッフの見守りを必要とする。	3ヶ月
2		レクリエーションの中に、絵を描いたり作品作りを挑戦する。	一階の掲示板に毎月出来た作品の展示をして季節ごとに変えながら皆さんに見てもらおう。	作品には個人差があるが、作り上げた作品の喜びや達成感を感じてもらおう。	3ヶ月
3		グループホームは外食を取り入れて、ふだん食べられない人が外食をすることによって食欲増進して雰囲気づくりをする。	社会参加の一環として、外食を取り入れて、外でのふれあいの機会を多く持つ。	年間スケジュールを立て、計画に沿って実現出来るようにしたい。 ウィンドウショッピングや街並みの変化を自分の目で確かめ、生きる喜びを感じてもらおう。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。